

BALLET CONCERT / CHECKMATE DOUBLE BILL 2023



シヨスタコーヴィチのピアクコンチェルトに対する
マクミランの卓越したインタープリテーション。
その研ぎ澄まされた感性が心に響く。

Kobayashi Ballet Theatre



英国近代バレエの金字塔。
「ツェス」を『ドラマティック』に変容させた
偉人なるド・ウアロワの傑作!



出演者 島添亮子 ジェームズ・クリューター 後藤和雄 大森結城 真野琴絵 湊可奈子 望月一真 上見悠樹 福川直樹 吉瀬智弘 村山 亮 廣田有紀 濱口千穂 宮本悠衣 山本美月
武田麗香 島崎悠里 中村悠里 武田彩希 須田莉那 三浦 舞 飯田穂香 森本彩乃 菅野詩音 神本悠衣 川陽陽子 矢作雪乃 中村奈奈 中嶋咲穂 中嶋彩希
小山 恵 前下 誠志 松本 一 郎 辻 海 廣瀬 陽 情野 詠太 高野 大 希 種 田 真 澄 小林 紀 子 バレエ・シアター

第123回小林紀子バレエ・シアター公演
バレエ・ダブルビル2023
2023/7/22 (土) 15:30 7/23 (日) 15:30

上演演目:『コンチェルト』『チェックメイト』
お申込・お問合せ 6月6日(火)より発売

■小林紀子バレエ・シアター 03-3987-3648 (※月曜日) 15:00以降受付
■チケットぴあ <https://pia.jp> (Pコード:520-043) ■イープラス <https://eplus.jp>
入場料 (全席指定・税込)
S=¥11,000 A=¥9,000 B=¥7,000 C=¥6,000

会場:新国立劇場中劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号
◆交通のご案内
【電車】:丸の内線(都営新宿線乗入)新国劇より1駅。【初台駅】中央口直結。(京王線は止まれません)
【お車】:劇場地下に駐車場がございます。山手湯沢、甲州街道交差点、首町線速4号線新国劇出口・初台出口、首都高速中央環状線中野長者橋出口・初台南出口すぐ。



【注意事項】
●チケットは一人につき一枚必要です。●未成年のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。●お子様の膝上での鑑賞はできませんので、お子様もチケットが必要です。●やむを得ない事情により出演者、演目が変更になる場合があります。●予定座席数を超過した場合は、当日券販売を行わない場合がございます。●公演中止の場合は、購入されたチケット代金の払い戻しはできません。お客様の体調不良や新型コロナウイルス感染症等の場合も、払い戻しは致しませんので、チケットご購入の際は、ご自身の体調や環境をふまえて判断されますようお願い申し上げます。
【託児サービスのご案内】
7月14日(金)17:00までに下記へ電話予約 / 託児対象:0歳3か月~12歳(定員5名)
0120-185-115 (土日祝日を除く、10:00~17:00)
株式会社明日香 子育てサポーター事務局 託児予約受付まで
小林紀子バレエ・シアター
ウェブサイト



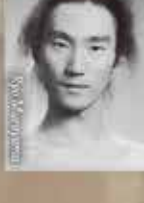
第123回 小林紀子バレエ・シアター公演
BALLET DOUBLE BILL

バレエ・ダブルビル

2023

コンチェルト
チェックメイト

Photographs by Kenichi Tomohiro



マクミラン史上、最も美しいパ・ド・ドゥ

コンチェルト

- 振付 ケネス・マクミラン
- 音楽 ドミトリー・ショスタコーヴィチ
- 美術 デボラ・マクミラン

1966年、ドイツ・ベルリン・オペラ・バレエの芸術監督時代のケネス・マクミラン(1929-1992)が、彼のミューズであったリン・シーモア(1939-2023)のパーでウォーミングアップしている姿から着想して、振付けられたと言われている第二楽章のパ・ド・ドゥは、名作揃いのマクミラン作品の中で最高に美しいパ・ド・ドゥと位置付けられる。

この協奏曲は、自由と解放の感覚において、他のショスタコーヴィチ(1906-1975)の作品とは大きく異なっている。彼の作品の多くは、緊張と不安に満ちているが、空気感が過剰なように叙情的な緩徐楽章を、活発で疾走感のある楽章で挟む形で構成されたピアノ協奏曲第2番には、自由さと切なさが広がっている。スターリンの死から4年が経過した1957年、息子マキシムの19歳の誕生日プレゼントとして書かれたこの曲には未来への期待と無制限の喜びがある。

クラシカルバレエの美意識と音楽の雰囲気、マクミランの自由な感性と玄妙な手法でシンプルに落とし込んだバレエ『コンチェルト』は世界各国で上演され続けている人気作である。

“愛”と“死”チェスで描かれるドラマ

チェックメイト

- 振付 ニネット・ド・ヴァロワ
- 音楽 アーサー・プリス
- 美術 E・マックナイト・カウファー

序曲はこれから起こりうる不穏な予感を掻き立てる。幕が上がると、天空を象徴する青いカーテンに巨大な腕が現れる。その巨大な腕の下でチェス盤を見つめる2人の騎士。青と黄色の鎧をまとった「愛」と、赤と灰色の鎧をまとった「死」である。愛がまず一手を打つ。まるで人の運命を帯びたかのような駒たちによるチェスゲームは、愛の一手によって、いよいよ開始されたのだ。死の不気味な腕が盤上を動き回り、次の一手が指されようとする。

場面は変わり、舞台はチェスの盤上となる。駒が集まり始め、まず赤の歩たちが、つぎに赤の騎士が、そして黒の騎士、つづいて黒の女王が登場する。赤の騎士の一人が黒の女王に勇敢に戦いを挑み、ついには黒の女王を處かせる。しかし赤の騎士は彼女への愛のためにとどめの一刀を下すことができない・・・

赤と黒の両陣営が対峙し、バレエダンサーが一齐に動きだすと、かのマルセル・デュシャンをも魅了したチェスの視覚的な美とデザイン性が舞台全体に広がる。自ら第1次大戦に従軍した経験をもつアーサー・プリス(1891-1975)の『チェックメイト』の音楽は示唆に富み、このバレエが作られた1937年の英国をとりまく世界の情勢を象徴的に表すと同時にとてもカラフルで独創的である。

Main Cast

コンチェルト

- 第一楽章 真野琴絵 上月佑馬
- 第二楽章 島添亮子 ジェームス・ストリーター
- 第三楽章 廣田有紀(22日)、濱口千歩(23日)

チェックメイト

- 黒の女王 澁可奈子
- 赤の第一騎士 望月一真
- 赤の第二騎士 高野大希
- 黒の騎士 富川直樹 吉瀬智弘
- 赤の王 後藤和雄
- 赤の女王 大森結城
- 愛 廣田有紀
- 死 村山 亮

観劇のキャストは2023年5月現在予定。中心を棒ない等しい理由によりは変更が変更になる場合があります。

- 芸術監督 小林紀子
- 指揮 ポール・ストバート
- 演奏 東京ニューフィルハーモニック管弦楽団
- ピアノ演奏 中野孝紀(『コンチェルト』)
- 振付指導 アントニー・ダウスン
- バレエ・ミストレス 児玉玲子
- 衣装チーフ 横山美樹
- ミュージック・スタッフ 青木萌絵
- 大道具 東宝舞台株式会社
- 照明 五十嵐正夫
- 音響 佐藤利彦
- 舞台監督 森岡肇
- 制作 小林 功
- 制作助手 小林健太
- 主催 有限会社小林バレエ事務所
- 後援 一般社団法人日本バレエ団連盟

